

### 一方井ダムで土と水の大切さ学ぶ

一方井小児童と地元住民約四十人は八月七日、一方井ダム周辺の環境美化と生物調査を行いました。この事業は、県の「ふるさと・水と土保全対策事業」の一環として一方井土地改良区(黒沢金一理事長)が主催。ダム湖をボートで見学し、下流の黒内川でサワガニなどの生物を探索したほか、周辺の花壇整備を行うなど、同地区の農業を支える一方井ダムや、農地や水環境の役割と大切さについて理解を深めました。

### 一方井小の児童と住民



豊富な水量を誇る一方井ダムをボートから見学する児童たち

### 「楽しい学校づくりフォーラム」



グループ討議の結果と感想を発表する川口小6年の帷子優璃さん

### 安全な地域を目指して

町教育委員会主催の第十三回楽しい学校づくりフォーラムは七月三十日、町総合開発センターで開かれました。当日は、町内十四の小中高等学校の児童生徒、地域の防犯関係者ら約九十人が参加。グループごとに分かれ、「地域安全マップの取り組み」、「携帯電話・インターネットの問題」などをテーマに、活発な討議と情報交換を行いました。意見発表では、「小中学生に携帯電話はほしくない」などの提言が注目されました。

### I GR 岩手川口駅に産直オープン

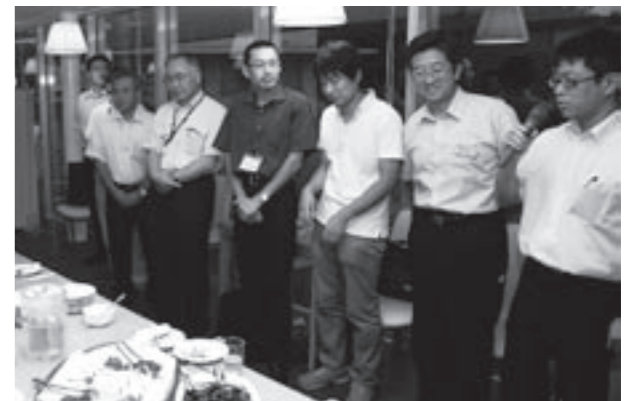
### 身近な駅の身近な産直

駅の利用促進と地域活性化を図ろうとI GRいわて銀河鉄道は八月一日、地元農家と協力し、岩手川口駅など四駅に産直直売コーナーを設置し販売を始めました。岩手川口駅(大村勝見駅長)では、地元農家団体「母ちゃん市」(和田秋美代表)の会員が取れたての新鮮野菜や物産などを販売。待望の「身近な産直」とあって、大勢の買い物客でにぎわいました。同産直は、毎週土曜日の十一時から十三時まで営業しています。



自慢の新鮮野菜を手に笑顔で来店を呼び掛けるスタッフたち

### 経済人ネット「石神サロン」始動



懇親会では参加者がそれぞれの実績や取り組みへの思いを紹介

### 農商工の連携で活性化

農商工の連携により町内経済の活性化を図ろうと町は町産業経済人ネットワーク「石神サロン」を創設し八月四日、第一回目のサロンを道の駅「石神の丘」で開催しました。当日は、町内の農業や誘致企業、商工、金融、行政関係者ら約四十人が参加。第一部の講演会では、農商工連携によるビジネスの可能性などについて講演が行われたほか、第二部の懇親会では、町産食材を味わいながら情報交換を行うなど懇親を深めました。

### スポーツ

### 元気にあふれはつらっプレー 石美杯ゲートボール大会開催

町が主催する第16回石神の丘美術館杯ゲートボール大会は8月27日、町総合グラウンドで開催されました。当日は、本町をはじめ近隣の6市町村から16チーム約100人が参加。沼宮内チームの八重樫盛選手による闘志あふれる選手宣誓に奮い立った選手たちは、互いに声を掛け合いながらはつらつとしたプレーを展開。天然芝の上を転がるボールの行方に一喜一憂しながら、日ごろ培った練習の成果を遺憾なく発揮しました。



真剣な表情で狙いを定める選手たちは日ごろ培ったチームワークを発揮

### 健康体力づくり推進宣言のまち 岩手町



「充実した合宿にしてくださいと各チームに飲料水を贈る佐々木恵治教育長

### 明大など4大学ホッケー部が町ホッケー場でスポーツ合宿

交通アクセスの利便性や人工芝ホッケー場など、町の充実した環境が高く評価され、明治、早稲田両大の男子ホッケー部が8月7日から13日まで、東京女子、津田塾両大の女子ホッケー部が8月20日から24日までそれぞれ来町し、町ホッケー場でスポーツ合宿を行いました。合宿では、社会人チーム「岩手クラブ」などと練習試合を行ったほか、夜間は、町内の中学生対象の学習会で講師を務めるなど、本町ならではの充実した汗を流しました。

### 工藤杯少年サッカー交流大会 県下の精鋭10チームが大熱戦

第11回工藤孝一杯町スポーツ少年団交流大会は8月22日と23日の両日、町総合グラウンドで開催されました。当日は、県内各地から10チームが参加。町内からは、「ゆはずFCフィゼンツ」が参加し、日ごろの練習の成果を大いに発揮しました。会場では、各チームの精鋭たちが大熱戦を展開。400人を超える選手や関係者の熱気と歓声があふれました。なお同大会は、県内の地方大会では最大級となり、参加者から大いに好評を博しています。



フアイトあふれるプレーと速攻で相手リーダーするゆはずFCフィゼンツ



贈られた盾を手に受賞を喜ぶ宮崎本部長(左から2人目)はじめ同団関係者

### 「日本スポーツ少年団顕彰」に町スポーツ少年団が選ばれる

全国の実績ある優れたスポーツ少年団を表彰する平成21年度日本スポーツ少年団顕彰(財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団主催)に、岩手町スポーツ少年団(宮崎雄司本部長)が選ばれました。同団は、昭和48年6月に5種目20団体で発足し、現在は9種目15団体が活動。長年、「健康体力づくりのまち」推進の核として、ホッケースポーツ少年団の全国制覇を筆頭に全国や県大会で数々の栄冠に輝き、優れた選手をはぐくみました。